

平成27年9月25日（金曜日）

午後1時13分開会

会議に付した案件

○協議事項

1. 県外調査について
 2. 執行部提出資料について
 3. 次回委員会等について
 4. その他
-

出席委員（12人）

| | | | |
|-----|---|----|-----|
| 委員 | 長 | 押川 | 修一郎 |
| 副委員 | 長 | 田口 | 雄二 |
| 委員 | | 緒島 | 雅晃 |
| 委員 | | 井本 | 英雄 |
| 委員 | | 外山 | 衛 |
| 委員 | | 山下 | 博三 |
| 委員 | | 島田 | 俊光 |
| 委員 | | 日高 | 博之 |
| 委員 | | 井上 | 紀代子 |
| 委員 | | 新見 | 昌安 |
| 委員 | | 囷師 | 博規 |
| 委員 | | 徳重 | 忠夫 |

欠席委員（なし）

委員外議員（なし）

事務局職員出席者

| | | |
|-----------|----|----|
| 政策調査課主任主事 | 日高 | 壮 |
| 議事課主査 | 松本 | 英治 |

○押川委員長 それでは、ただいまから総合交通・観光・経済対策特別委員会を開会をいたします。

本日の委員会の日程についてであります、

お手元に配付の日程案をごらんください。本日は、県外調査、次回委員会などについて御協議いただきたいと思いますが、このように取り進めてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○押川委員長 それでは、そのように決定をいたします。

早速協議に入ります。

まず、協議事項（1）の県外調査についてです。

資料1をごらんください。

県外調査につきましては、11月4日から11月6日の日程で予定されています。ごらんなような日程案を作成しました。まず、調査日程は4日からとなっておりますが、事前に皆様方に御了解をいただきましたとおり、前日の11月3日から宮崎カーフェリーを利用し、神戸まで行きたいと考えています。なお、出発前には、荷役の積み込み状況や船内の視察をさせていただくこととしております。そして、1日目は、福井県庁と石川県庁に伺う予定としております。まず、福井県庁では、ことし3月に策定された福井県観光新戦略の概要などについて調査したいと考えています。続いて、石川県庁では、新幹線の開通効果やそれに伴う観光振興施策について調査したいと考えています。

2日目は、富山国際大学と富山県庁に伺う予定としております。富山国際大学は、現代社会学部の中に観光専攻を設置しており、ここでは学部長である高橋教授から地域連携による観光振興についてお話を伺いたいと思います。

続いて、富山県庁では、今年度末策定予定の地域交通ビジョン案や観光振興施策などについて調査したいと考えています。

そして、3日目は、雪国観光圏推進協議会に

伺う予定としております。観光圏とは、観光圏整備法に基づき、観光庁の認定を受けたものであり、当該観光圏は、県境を越えた新潟県・長野県・群馬県の7市町村で構成されています。官民が一体となって、県境を越えた広域的な観光振興に取り組んでおり、ここでは、雪国観光圏の概要と観光振興のための取り組みについて調査したいと考えております。

調査先との調整もある程度進めていただいておりますので、できれば、この案で御了承いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○押川委員長 それでは、そのように決定いたします。

なお、諸般の事情により、若干変更が出てくる場合もあるかもしれませんが、正副委員長に御一任をいただきますようお願いをいたします。

最終行程につきましては、追って事務局から連絡をさせます。

次に、(2)の執行部提出資料についてであります。

お手元の資料2をごらんください。

7月の県南調査において、油津港湾事務所でクルーズ船の受け入れについて話を伺ったところですが、説明に訂正があるとのことでした。

詳細は書記から説明をさせます。

○日高書記 それでは、御説明いたします。

7月29日に、油津港湾事務所において実施した調査の際に、徳重委員から、油津港において、クルーズ船の寄港を、今までに断ったケースがどれくらいあるのかという質問がありましたが、これに対する、油津港湾事務所長の回答に誤りがあることが先日判明し、訂正をさせていただきたいという依頼がありましたので、資料によ

り説明させていただきます。

当日の回答と訂正回答は、4の(2)、(3)のとおりですが、まず、(4)訂正理由をごらんください。

1点目が、暦年で回答すべきところを年度で回答し、かつ、年を言い間違えたこと、2点目が、断った数字に、予約の申し込み相手からキャンセルされたものも含めて回答したことが訂正の理由であります。

具体的な内訳につきましては、表をごらんいただきたいと思いますが、合計の欄が、調査の際に回答した回数であります。この回数から、後日、クルーズ船社などからキャンセルがあったものの回数を差し引いた小計の欄の回数、平成27年が15回、平成28年が13回が本来回答すべき回数であり、この数字に訂正させていただきたいということで、県土整備部から資料の提出があったものでございます。

説明は以上でございます。

○押川委員長 説明はお聞きのとおりです。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○押川委員長 ありがとうございます。

次に、協議事項(3)の次回委員会等についてです。次回委員会は10月30日金曜日を予定しております。次回委員会にも関連しますが、残りの委員会は実質2回となっており、今後どのような調査を行うべきかを、まず御協議いただきたいと思います。

お手元の資料3をごらんください。これまでの調査活動の経過と、調査で出ました意見などを整理しております。これらを踏まえ、年度末の報告書作成に向けて、今後どのような調査を行うべきか御意見をいただきたいと思います。御意見はないでしょうか。

○井本委員 きょうの意見交換会は、非常に私
はためになりました。やっぱり情報を共有とい
うことは非常に大切なことだと思いました。
今度は、違うどっか何かこう観光業者とか、何
かそういう人たちと話し合うというのはどうで
すか。

○押川委員長 ありがとうございます。きょう
の5社もよかったけれども、今度は、いろん
な観光業者さん方との意見交換会をしたらどう
だろうという御意見であります。

ほかにございませんか。

○山下委員 5社の協議会の皆さん方との意見
交換は非常によかったと思うんですが、本県の
物流というのが非常に大きな課題になっており
まして、きょうは、カーフェリー黒木社長もお
みえでしたけれども、きょういろいろお話が出
たのは、観光、そして、車の乗船率がふえたと
いうこと、そういうお話があったんですが、非
常に宮崎県の経済の中でトラック業界関係から、
本当に都市へ物を運ぶ状況というのが、非常に
働き手がない、そして、さまざまな労務管理等
で厳しくなって経済を物流をやっぱり対策を本
当にしっかりとしておかないといけないのかな
という思いがあって、せっかくカーフェリーで
いくときに、積み込み状況等も見れるわけです
から、できたら、物流関係の皆さん方と1回ぐ
らい協議、どこでも入れていただくとありがた
いと思うんですが。トラック業界とかしっか
りとした組織がありますので、そこ辺との話し
合い、勉強会、それもしておくべきかなという
思いですけれども。

○緒嶋委員 コストがかかることが宮崎県が一
番物流で問題なわけです。だから、関東、関西
に持っていくのにも、品物じゃなくて、もうそ
のコストで来るわけです。そうすると、そこ辺

の課題というか、物流をどうパイを太めるとい
うことと、流れをよくするということを含めた
そのあたりを経済連なんかも含めて、1回そこ
辺もやっぱり勉強しとおいたほうがいいのでは
ないかと思うんです。今言われたことと、いろ
いろ関連があるのじゃないかと。

やっぱり、今、芝浦にも生体で牛などを出す
のにも、そのコストを県が支援しなくてはなか
なか流通に乗れんというふうな感じのこともあ
るし、その辺も含めてちょっとそういう課題を
我々がやっぱり勉強するということが一番重要
じゃないかなと思うんです。向こうが苦悩して
おられることなんかは。

○押川委員長 よろしいですか。それでは、そ
のようなことを入れながら今後進めていただき
たいというふうに考えております。よろしいで
しょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○押川委員長 それでは、次回委員会につい
ては、委員会で執行部への説明資料要求につい
て何か御意見はないでしょうか。

○日高委員 資料要求をお願いしたいのが、フェ
リーにトラックや貨物を積んでいく時の、オイ
ルサーチャージの状況で、あれが鹿児島や大分
と比較してどれぐらい差があるとか、どこら辺
を穴埋めしてすれば、宮崎カーフェリーの利活
用がふえていくのかがわかるかなと思うんです。
今、宮崎が高いと言われるだけだから、現実に
どのぐらい高くて、どういう感じなのかという
資料が欲しいなという。何か支援ができるのか
という。

○押川委員長 今、日高委員のほうから出た御
意見あたりを参考に、次回委員会の説明資料等
を要求したいというふうに思います。また、内
容につきましては、正副委員長に御一任いただ

くとありがたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○押川委員長 それでは、そのような形で準備をさせていただきます。

最後になりますが、協議事項（４）のその他について、委員の皆様から何かございませんでしょうか。

○日高委員 ついでにですが、中山間地が難しいという話がきょう出ました。だから、乗車状況、急にこの路線は廃止になりますと言われても、正直、市町村も困るし、我々も困るので、やっぱりそういった見通しはどうかというのを調査すれば、また政策も打てるんじゃないかなと思うので、もしそれもできたらお願いします。

○押川委員長 わかりました。

○緒嶋委員 それと、この調査の中で、できれば、黒木社長がこれ一緒に乗って、船の中でいろいろ意見交換などできたらおもしろいのではないかなど。（発言する者あり）

○押川委員長 わかりました。じゃあ今出た御意見については、資料要求の部分と、今回の県外調査の中で、そういう関係者の方が同乗できればということでありましたので、要請をしておきたいと思います。

よろしいでしょうか。そのような方向でやらせていただきたいと思います。

次回の委員会は10月30日金曜日を予定しております。

それでは、以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。朝から長時間にわたりましたお疲れさまでした。ありがとうございました。

午後1時26分閉会